

5月・6月の管理ポイント

多くの地域は6月中、早い地域では5月初旬には梅雨入りします。雨の日が増え土壌が過湿状態になりやすくなりますので、健康な根を育てるために気相をしっかりと確保するグリーン管理が重要になります。



高温ストレスから
ベントを守る

ヒートファイター

ヒートファイターは、夏の厳しい暑さをベントグラスが生き延びる為のお勧め資材です。ヒートファイターの有効成分「ゼルンボン」が細胞を刺激することで植物自体が持つ高温耐性が活性化、通常では弱体化・致死してしまう程の高温でも生き延びられるようになります。梅雨明け前からの予防処理で、ヒートファイターの効果を最大限得られます。

使用量：0.5ml/m² 散布水量：100-500ml/m² 散布間隔：14日



根の生育しやすい
土壌環境を整えましょう

レボ (REVO)

5・6月はベントグラスの生育適期です。レボは排水性が高く表層土壌の水分を低めに保ちます。気相をしっかりと確保することで土壌中酸素の割合が高くなり、根が生育しやすい土壌環境を作ります。土壌環境を常に良い状態で保つため、定期散布がおすすめです。

使用量：2ml/m²/月 散布水量：200ml~500ml/m² 散布回数：1ヶ月に1回~2回



乾燥・過湿から
グリーンを守りましょう

プライマーセレクト

土壌全体に水を行き渡らせ適度な水分を保ちつつ、余分な水の排出を促すことで、ベントグラスが生育しやすい土壌水分状態を維持します。レボより土壌表層の水分を少し高めに保ちます。

使用量：2ml/m²/月 散布水量：200ml~500ml/m² 散布回数：1ヶ月に1回~2回



タンクミックスにお勧め

グリーンシナジー

根圏土壌の隅々まで水を届ける働きがあるので、肥料、ミネラル、糖、アミノ酸などと混用すれば、水と一緒に養分も根圏の隅々まで行き渡ります。与えた養分を無駄なくベントに届けるには、グリーンシナジーのご使用がお勧めです。経済的な資材なので、散布の度にご使用頂けます。

使用量：1~2ml/m²/月 散布水量：100ml~1ℓ/m² 使用方法：資材の散布時にタンクミックス



サッチを除去して
透水性を改善しましょう

サッチ・マネージャー

蓄積したサッチは通気性・排水性不良の原因となります。サッチ・マネージャーで分解を促進させ土壌環境を改善しましょう。本剤は、自然界に存在する微生物の中からサッチ成分に対して優れた分解能力のある有用菌を選抜した微生物資材です。様々な土壌環境に適應できるように、16種類の有用菌(乳酸菌11種、枯草菌3種、酵母菌2種)で構成されています。製剤1g当たり約400億個の菌配合で土壌中でも安定した効果が期待できます。

使用量：ラフ・FW 0.1-0.2g/m² グリーン 0.5g/m² 散布水量 0.2~0.5ℓ/m²



土壌中の有害物質除去

光合成細菌

過湿状態の土壌中に発生しやすい硫化水素やメルカプタンなどは、イヤな臭いがするだけでなく、根を痛めます。光合成細菌を処理して有害物質を除去しましょう。光合成細菌は、硫化水素などを分解するだけでなく、他の有用微生物の餌となるアミノ酸やATP、ADP(高エネルギーリン酸化合物：補酵素)などを分泌し、有用な土壌微生物の住みやすい環境を作ります。サッチリムーバーと組み合わせると、サッチを効率よく分解できます。

使用量：1~2ml 1ℓ/m²散布 月1~2回



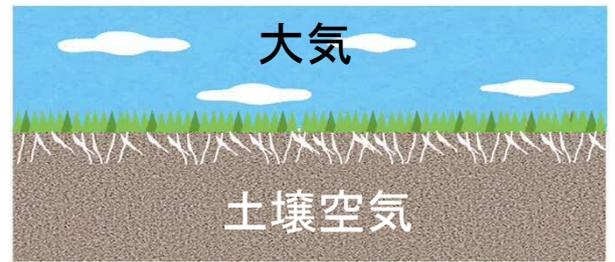
光合成だけでは
足りない養分を補いましょう

グリーンメカ

梅雨時期は日照不足で芝の光合成が低下してしまいます。糖・アミノ酸・ミネラルたっぷりのグリーンメカを処理し、足りないエネルギーを補いましょう。

使用量：2~10ml/m² 散布水量：1ℓ/m²

梅雨の時期には土壌が過湿状態になりやすくなります。その結果土壌が酸欠状態になり根腐れ等を引き起こす原因となってしまいます。根の健全な生育には水だけではなく十分な空気(土壤空気)が必要です。今回は土壤空気の特徴について、地上の空気(大気)と比較しながら紹介させていただきます。



● 大気と土壤空気の組成

	大気	土壤空気
	(vol%)	(vol%)
N ₂ : 窒素	78.09	≦ 75~90
O ₂ : 酸素	20.94	≧ 2~21
Ar : アルゴン	0.93	≦ 0.93~1.1
CO ₂ : 二酸化炭素	0.0345	≪ 0.1~10
CH ₄ : メタン	0.00017	≪ tr~5
N ₂ O : 亜酸化窒素	0.00003	≪ tr~0.1
	(ppm)	
Ne : ネオン	18	各種炭化水素
He : ヘリウム	5.2	NH ₃ , NO, NO ₂
Kr : クリプトン	1.0	H ₂ , H ₂ S, CS ₂
H ₂ : 水素	0.5	COS, CH ₃ SH
CO : 一酸化炭素	0.1	DMS, DMDS
Xe : キセノン	0.08	揮発性アミン
その他, O ₃ , NH ₃ , NO ₂ , SO ₂		揮発性有機酸など多数
相対湿度	30~90%	< 約100%
組成	均一	不均一

土壤空気の
特徴

植物の根や微生物に消費され
大気中より酸素は少ない

植物や微生物の呼吸により大気中より二酸化炭素が多い

有機物の分解により還元性物質(悪臭ガスなど)が発生する

大気に比べて高く、ほとんど100%に近い

高温、高水分条件下でより不均一になりやすい

植物の生育には多くの植物で20%以上、空気要求量の少ない芝や水稻でも10%以上の空気率(気相)が必要です。また種子の発芽や根の伸長には10%以上の酸素濃度が必要となります。土壌中が過湿になりやすい梅雨時期ですが、ベントグラスの生育期にも重なっています。気相(土壤空気)を確保し丈夫な根をしっかりと育てて夏越し準備を行いましょ。